川幸通信

第27号
平成19年12月発行

「N値」

木造住宅の構造計算に使われる用語です。柱の引張力を算定し、接合部の金物を決定することを一般的に「N値計算」と言います。

皆さんもご存知の様に、日本は地震大国です。過去江戸時代から現在まで400年間に破壊的な大地震が70回も起きています。記憶に新しいのは新潟県中越沖地震ですね。倒壊した家、そうでない家何が違うのでしょうか建築基準法で定められた通りに建てたはずなのに…実は建築基準法は過去に何度と改正されています。大きな改正は、宮城県沖地震後に抜本的に見直された耐震設計法。この昭和56年施行した基準を新耐震設計基準と呼び、更に平成12年に阪神大震災後に、基礎や接合部金具など基準が変わり、現在の耐震基準となっています。

そうなんです。問題なのは、どの時期にどの基準で建てられたかと言う事です。平成12年以降に建てられた方は一応安全だと思ってください。

今、問題視されているのは昭和56年以前に建てられた木造建築です。現在建っている木造住宅の40%は現在の耐震基準をみたしていない。大地震の際、お亡くなりになられた方の約6割が建物の倒壊によると言われています。

まだ会わぬ大地震…日頃の備えが大切です。耐震補強など自分を守る手段を考えていきましょう。

第26号まほーびん住宅の続き

先月号で掲載しました内容で、読者の方から貴重なご意見を多数頂きました。有難うございます。

高気密高断熱で、四季を感じ季節を体感できる生活も十分できること

高気密高断熱住宅で新しい暮らし方をして見える方々が多い事

ご意見を頂き大変ありがとうございます。浅学を恥じ勉学にはげみます。

今後ともご愛読頂ければ幸いです。

来年もよろしくお願いいたします。年末年始皆様お忙しくされていることでしょう。お体御慈愛ください。

Style DeCo

つれづれ・・・

今年も後わずかとなりました。本誌も27号目となりました。来年も仕事の合間のオアシスとなれば幸いです。

さて先日、名古屋駅に買い物に出かけました。日没を迎えた頃、携帯電話を空に向けている人だかり…名駅のクリスマスイルミネーションを必死に撮影している様子…周辺は激混雑…駅前なのになぜか神社の初詣状態でした。えっ？地下街より上の方が混んでるっておかしくない？（若い子風に）

勘違いしてお財布から5円玉を出し投げている人は…さすがにいませんでしたけどね（苦笑）

TEL 0566-53-1214
FAX 0566-53-2094
川幸窯業株式会社
E-Mail info@kawakoh.co.jp
HP http://www.kawakoh.co.jp